

# HP 35s 科学計算用電卓 クイックスタートガイド



初版

HP part number: F2215-90219

## 法律に関する通知

本書の内容と本書で使用されている例は「現状のまま」で提供され、予告なしに変更することがあります。当社は、商品性、権利非侵害、および特定目的に対する適合性についての暗黙の保証を含め、またこれに限定されることなく、本書についての保証は一切行いません。当社はこれに関し、本マニュアルに含まれている技術的または編集上の誤り、もしくは欠落について責任を負いません。

当社は、本書の誤りや本書の提供、内容の実施、また本書の利用によって偶発的あるいは必然的に生じる損害については責任を負わないものとします。

Copyright © 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

当社の文書による事前の承諾なく、本書の内容の一部または全部を複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

Hewlett-Packard Company  
16399 West Bernardo Drive  
San Diego, CA 92127-1899  
USA

## 版歴

初版、バージョン 4、Copyright December 2008

## 目次

HP 35s 関数電卓をお買い上げいただきありがとうございます	1
電源のオン/オフ	2
ディスプレイのコントラストの調整	2
キーボード	3
アルファベットキー	4
カーソルキー	4
バックスペースとクリア	5
Undo キー	6
メニューの使用	6
メニューの終了	8
演算モード	9
RPN モード	10
代数モード	14
メモリと変数	16
組み込み関数	17
物理定数	19
複素数	24
ベクトル	25
統計	26
線形回帰	29
方程式と HP Solve	31
式の計算	31
方程式の根の求解	33
式の積分	35
線形ソルバー	37
プログラミング	40

RPN でのプログラミング例 .....	41
ALG でのプログラミング例 .....	43
追加リソース .....	45
保証、および連絡先情報 .....	46
電池の交換 .....	46
HP によるハードウェア限定保証およびカスタマケア .....	46
ハードウェアの限定保証期間 .....	47
一般条項 .....	47
免責 .....	48
カスタマケア .....	48
Product Regulatory & Environment Information .....	54

---

# 1 はじめに

HP 35s 関数電卓をお買い上げいただきありがとうございます  
本ガイドは、電卓に関する基本的な操作方法をユーザに提供することを目的とした *HP 35s 関数電卓ユーザズガイド*、の補遺です。本ガイドで概説している HP 35s 関数電卓のさまざまな機能の詳細については、CD 収録の完全版のユーザズガイドを参照してください。

## マニュアルの表記法

本ガイドでは、操作手順を明確にするため、タスクの説明にキーの画像が使用されています。これらの多くの操作では、黄色と青色のシフトキー  と  が使用されます。タスクでシフトキーの使用が必要な場合、コンピュータのシフトキーとは異なり、シフトキーを押しながら別のキーを押す必要はありません。特に指定がない限り、目的のシフトキーを押してから離し、必要に応じてその他のキーを押します。

複雑なタスクを表すキーは、操作を完了するのに押す順番で示されます。入力中の中間ステップを明確にするため、ガイドの多くの箇所電卓の画像が掲載されています。

## 電源のオン/オフ

電卓をオンにするには、 キーを押して離します。キーの下部に、青色で "ON" と印刷されています 。

電卓をオフにするには、  を押します。電卓は連続メモリを備えているため、電源をオフにしても保存した情報には影響がありません。

電池の節約のため、10 分間操作しないと自動的に電源が切れます。ディスプレイに電池容量低下記号 () が表示された場合は、速やかに 2 つの新しい CR2032 電池 (または同等品) と交換してください。手順については、*HP 35s 関数電卓ユーザーズガイド* の付録 A を参照してください。

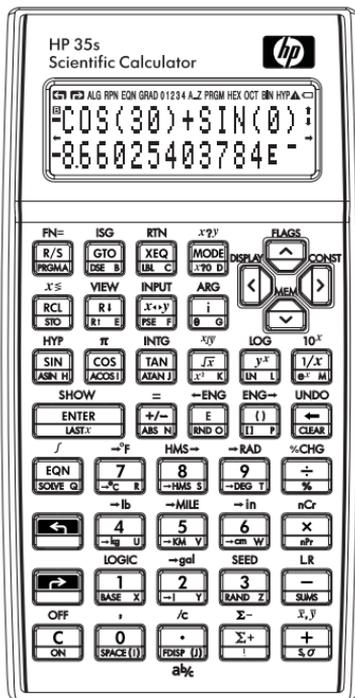
## ディスプレイのコントラストの調整

ディスプレイのコントラストは、照明、見る角度、コントラスト設定によって異なります。コントラスト設定を調整するには、 キーを押しながら、 または  キーを繰り返し押します。各キーを 1 回押すごとに、コントラストの明暗が少しずつ変化します。

## キーボード

### キーボードの機能

図 1 電卓のキーボード



### シフトキー s

- カーソルキーには、黄色シフト機能しかありません。
- 多くのキーには、白色に印刷された機能、キー上部に印刷された黄色シフト機能、およびキーの傾斜面に印刷された青色シフト機能の3つの機能があります(図2参照)。
- シフトキーを押すと、それに対応するシフトキー記号  または  がディスプレイの左上に表示されます。
- 記号は、次のキーが押されるまで表示されます。シフトキーを再度押すと、シフトキーがキャンセルされます。

図 2 キーの図



### アルファベットキー

右下角にピンク色の文字があるキーはアルファベットキーです。主に変数やプログラムのラベルを入力するのに使用されます。文字入力が必要になると、ディスプレイに **A.Z** 記号が表示され、アルファベットキーがアクティブになります。文字キーを押すとアルファベットモードはオフになります。

### カーソルキー

4つのカーソル方向キーにはそれぞれ矢印が付けられています。本テキストでは、カーソルキーは , ,  で表されます .

## バックスペースとクリア

? 1 は、バックスペース操作とクリア操作の機能に関する説明です。

表 1 バックスペースとクリア操作

キー	説明
	<b>バックスペースとクリア。</b> 式の入力途中で  を押すと、入力カーソル ( ) の左側の文字が消去されます。一方、完成した式や 2 行目に表示された計算結果では、  を押すと結果がゼロで置換されます。  また、はエラーメッセージのクリアやメニューの終了にも使用します。
	<b>クリアまたはキャンセル。</b> このキー ( および ON キー ) を押すと、表示されている数値がゼロにクリアされ、現在のコンテキスト ( メニュー、メッセージ、方程式入力やプログラム入力など ) がキャンセルされます。
 	<b>クリア。</b> クリアメニューには、X レジスタの数値、すべての直接変数、すべてのメモリなどを削除するためのオプションがあります。

## Undo キー

Undo キーの動作は電卓のコンテキストによって異なりますが、通常は、任意の操作を元に戻すのではなく、エントリの削除を復元します。や   の使用後に  をすぐに押すと、 以下の項目が復元されます。

- 式の中の桁など、削除した入力。
- 方程式モードで削除した方程式。
- プログラムモードで削除したプログラム行。

元に戻す操作がクリア操作の直後であれば、CLEAR メニューを使用して直前にクリアしたレジスタの値も元に戻ります。

## メニューの使用

キーのうち 16 個は、さらに多くの機能にアクセスするためのメニューキーです。これらの機能をに示します。表 2。

表 2 メニュー機能

メニュー名	メニューの説明
L.R.	 <b>L.R.</b> 線形回帰と推定。
$\bar{x}, \bar{y}$	 <b>x,y</b> 統計値 $x$ - と $y$ - の相加平均。統計値 $x$ - の加重平均。
$s, \sigma$	 <b>S,σ</b> 標本標準偏差と母標準偏差。
CONST	 <b>CONST</b> 41 個の物理定数のメニュー。
SUMS	 <b>SUMS</b> 統計データの合算。
BASE	 <b>BASE</b> 進法変換 (2、8、10、16 進数)。
INTG	 <b>INTG</b> 符号付きの値、整数の除算、剰余、最大整数、小数部、整数部。
LOGIC	 <b>LOGIC</b> n 進法の値の論理演算子。

表 2 メニュー機能

メニュー名	メニューの説明
FLAGS	 <b>FLAGS</b> フラグを設定、クリア、テストするための機能。
x?y	 <b>X?Y</b> X レジスタと Y レジスタの比較テスト。
x?0	 <b>X?0</b> X レジスタと 0 の比較テスト。
MEM	 <b>MEM</b> メモリステータス(空きメモリのバイト数)、変数のカタログ、プログラムラベルのカタログ。
MODE	<b>MODE</b> 角度モードと演算モード。
DISPLAY	 <b>DISPLAY</b> 固定、科学、技術、完全浮動小数点表示、基数記号オプション、複素数表示。
R↓ R↑	    ALG モードの 4 レベルスタックを確認できます。
CLEAR	 <b>CLEAR</b> メモリのさまざまな部分をクリアするための機能。

メニュー機能を使用するには、以下の操作を実行します。

1. メニューキーを押して、メニュー項目のセットを表示します。
2. または , , , または  を押して 、選択する項目にアンダーラインカーソルを移動します。
3. 選択する項目にアンダーラインカーソルを移動したら、**ENTER** を押します。メニュー項目に番号が付いていれば、項目の番号を入力することもできます。

**注：**一部のメニューは複数のページから構成されます。このようなメニューでは、ディスプレイに **▲** または **▼** 記号が表示され、ページが複数あることがわかります。および **▶** カーソルキーを使用して、現在のメニューページ上の項目に移動し、**◀ ▶** および **▼ ▲** キーを使用して、メニューページ間を移動します。

### メニューの終了

メニュー機能を実行すると、メニュー表示は自動的に消えます。機能を実行しないでメニューを終了するには、次の3つの方法があります。

- **◀** を1レベルずつ押して、2レベルメニューから戻る
- **◀** または **⏏** を押して、他のすべてのメニューをキャンセルする
- その他のメニューキーを押して、今のメニューから新しいメニューに移動する

### ディスプレイ形式の制御

すべての数値は12桁の精度で格納されますが、表示桁数はDisplayメニューで制御されます。**▶ DISPLAY** を押してこのメニューにアクセスします最初の4つのオブ

ション (FIX, SCI, ENG, 最初の 4 つのオプション ALL) が、数値表示の桁数を制御します。図 3 を参照してください。

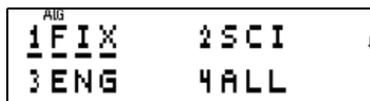


図 3

### 演算モード

HP 35s には、逆ポーランド記法 (RPN) と代数モード (ALG) の 2 つの演算モードがあります。通常、RPN は代数モードよりも効率がよく、多くの場合、問題の解決に必要なキー入力が少なくて済みます。すべての途中結果が表示されることから、1 ステップずつ問題を解く場合にも非常に便利です。

代数モードでは、式が書かれた順序で入力できます。最終結果が 1 ステップで計算されるため、途中結果は表示されません。

### RPN モード

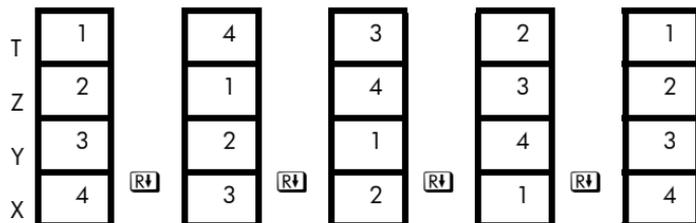
**MODE** **5** を押して、電卓を RPN モードに設定します。電卓が RPN モードにある場合、**RPN** インジケータがオンになります。RPN モードでは、どのような計算結果

も、単純であるか複雑であるかを問わず、次の計算への入力として使用できます。RPN は、途中結果や以前の結果を保持するため、4 レベルスタックを使用します。RPN モードでは、まず値を入力し、次に演算を実行します。

メニュー、メッセージ、方程式行、またはプログラム行が表示されない場合は、X レジスタと Y レジスタが表示されます。X レジスタは下の行に表示される数値で、Y レジスタは上の行に表示される数値です。一部の機能名には、 $x$  または  $y$  が含まれます。これらは、X レジスタと Y レジスタを表します。例えば、 $\left[ \leftarrow \right] 10^x$  を押すと、10 を X レジスタの数値で乗じた値が得られます。残りの 2 つのスタックレジスタは Z および T と呼ばれます。

ロールダウン  $\left( \leftarrow \right)$  (キー) を使用すると、1 度に 1 レジスタずつコンテンツを下向きに「ロール」することで、スタックの内容を確認できます。1, 2, 3, 4 が格納されている場合を考えます。( $\left[ 1 \right] \left[ \text{ENTER} \right] \left[ 2 \right] \left[ \text{ENTER} \right] \left[ 3 \right] \left[ \text{ENTER} \right] \left[ 4 \right] \left[ \text{R} \right]$ ) を 4 回押すと、数値は「ロール」して元の順番に戻ります (図 4 参照)。 $\left[ \text{R} \right]$  (ロールアップ) キーは  $\left[ \text{R} \right]$  と同じような機能ですが、スタックの内容が上向きに「ロール」します。

図 4RPN スタック



**[x↔y]** キー ( $x$  と  $y$  の交換) は、他のスタックに影響を与えることなく X レジスタと Y レジスタの内容を入れ替えます。**[x↔y]** を 2 回押すと、X レジスタと Y レジスタが元の順番に戻ります。**[x↔y]** 機能は主に、計算中に数値の順番を入れ替えるのに使用されます。例えば、 $9 \div (13 \times 8)$  を計算するには、

**[1][3][ENTER][8][x][9][x↔y][÷]**

LAST X レジスタはスタックの付随レジスタであり、最後の数値機能の実行前に X レジスタに記録されていた数値を保持します。**[LAST X]** を押すと、この値が X レジスタに戻ります。「最後の X レジスタの値」を取得することには、エラーの修正と、計算での数値の再利用の 2 つの主な用途があります。例えば、数値の平方根を計算しようとして、誤って **[TAN]** を押してしまっ

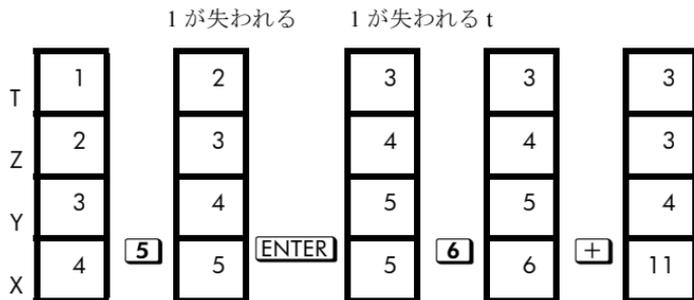
た場合を考えます。この場合でも最初からやり直す必要はなく、を押すと正しい結果が得られます。

**[2] LAST X** **[X] SUMS**

などの一部の数値演算は、単一の数値入力を必要とします。**[2] LN**, や **[SIN]** RPN モードでは、まず値を入力し、次に適用する演算を入力します。例えば、3 を二乗するにはを押します。**[3] [2] [X]**

などの一部の演算では、2つの数値を必要とします。**[+]**, **[Y<sup>x</sup>]**, **[←] nCr** **[ENTER]** キーを使用して、2つの連続した入力値を区切ります。例えば、スタックに1、2、3、4が格納されている状態で、5+6を計算する場合、を押します。**[5] [ENTER] [6] [+]** を押すと、**[5]** スタックの内容は1レベル上に押し上げられ、Tレジスタの以前の値1は失われます。**[ENTER]** を押すとXレジスタがYレジスタにコピーされ、スタックの内容が再度押し上げられますが、次のスタック押し上げが無効になります。**[ENTER]** を押した後はスタックの持ち上げが無効になるため、次に**[6]** を入力すると、Xレジスタの5は上書きされますが、スタックは押し上げられません。**[+]** を押すと、XレジスタとYレジスタの内容が加算されて1つにまとめられ、その他のスタックの値は1レベル下に下げられます。このため、以下の図のようにTの値3はZにコピーされます。この例ではLAST Xレジスタは値6を保持します。

図 5



スタックを使用すると、長い問題を簡単に計算できます。例えば、 $(10 - 5) \div [(17 - 12) \times 4]$  を計算する場合、を押します。

**1** **0** **ENTER** **5** **-** **1** **7** **ENTER** **1** **2** **-** **4** **×** **÷**.

### 代数モード

代数モード (ALG) では、通常の演算順序で算術演算が実行されます。**MODE** **4** を押して、電卓を ALG モードに設定します。電卓が ALG モードになると、**ALG** インジケータがオンになります。

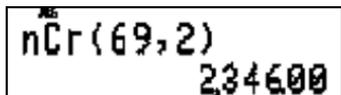
ALGモードでは、**[LN]** や **[SIN]**, などの単一の数値入力が必要とする数値演算は、演算内容を先に入力してから数値を入力し、最後に **[ENTER]** を押します。3 を二乗するには、

**[√x]** **[√x]** **[√x]** **[√x]** **[√x]** **[√x]** **[x<sup>2</sup>]** **[3]** **[ENTER]**

など、2 つの数値を必要とする演算の場合、1 番目の引数、実行する演算、2 番目の引数の順に入力し、最後に **[+]**, **[-]**, **[x]**, **[÷]**, **[y<sup>x</sup>]**, **[ENTER]** を押して演算を実行します。例えば、3 + 4 を計算するには、**[3]** **[+]** **[4]** **[ENTER]** を計算するには、を押します。**[3]** **[y<sup>x</sup>]** **[4]** **[ENTER]**

など、2 つの引数を必要とするその他の演算では、**[nCr]**, **[%CHG]**、**[nCr]**、など、2 つの引数を必要とするその他の演算では、開き括弧と閉じ括弧、さらに引数を区切るカンマが表示され、演算内容の入力が求められます。カーソルは、開き括弧のすぐ内側に置かれます。1 番目の引数を入力し、**[>]** を押してカンマの右側に移動し、2 番目の引数を入力して、**[ENTER]** を押します。例えば、69 個から 2 個を取り出す組み合わせの数を計算するには、を押します。

**[nCr]** **[6]** **[9]** **[>]** **[2]** **[ENTER]**



The image shows a calculator display with a black background and white text. At the top, there is a small 'MS' icon. The main display shows the text 'nCr(69,2)' in a large font. Below this, the result '234600' is displayed in a slightly smaller font. The entire display is enclosed in a thin white border.

図 6

式の計算後、**◀** を押してその式の末尾にカーソルを移動すると、式を変更して再計算できます。例えば、69 個から 2 個を取り出す組み合わせの数の計算後、69 個から 3 個を取り出す組み合わせの数を計算する場合、すべての式を入力する代わりに、**◀◀←3** **ENTER** 式が長く複雑になると、式全体を再入力するよりはるかに簡単です。

ALG モードでは、代数的な優先順序で演算が実行され、特定の関数は他の関数より先に計算されます。例えば、乗算は加算の前に実行されるため、**1+2×3** **ENTER** は 7 となります。この順序を変更するには、括弧を使用して式を変更します。**( ) 1+2 > × 3** **ENTER** とします。この例では、括弧が先に計算されるため、結果は 7 ではなく 9 になります。

### メモリと変数

HP 35s は、数値、方程式、プログラムの格納用に 30KB のメモリを備えています。数値は、変数やレジスタと呼ばれる場所に格納されます。変数には A ~ Z の名前が付けられ、直接アドレスリング可能な 26 個のメモリレジスタとなっています。統計計算用の情報を格納する、6 個のレジスタも存在します。これらの変数は常に使用できます。ALG モードで、現在表示されている値をレジスタ Q に保存するには、**⇨ STO Q** **ENTER**

を押します。値を呼び出して再利用するには、**[RCL] [Q] [ENTER]**を押します。スタックレジスタ X、Y、Z、T は、同じ文字が付いたメモリレジスタとは異なります。例えば、**[R] [STO] [T]**を押すと、数値はスタックレジスタ T ではなく、変数 T に格納されます。**[X↔Y]** 機能は、データレジスタ X と Y の値ではなく、スタックレジスタ X と Y の値を交換します。

間接的にアドレッシングされるレジスタにはメモリが割り当てられます。これらの間接レジスタを参照するには、目的の数値アドレスを変数 I または J に格納し、特殊機能である **[R] [STO] [I]** または **[R] [STO] [J]** を使用して値を間接的に格納します。例えば、ALG モードで、レジスタ J を使用して間接レジスタ 3 に今後の結果を格納する場合、まず **[3] [R] [STO] [J] [ENTER]** を押して J に 3 を格納し、次に格納する値を計算して、**[R] [STO] [I] [ENTER]** を押します。J に 3 が格納されている限り、後で **[RCL] [I] [ENTER]** を押すことで、値を呼び出して使用できます。

## 組み込み関数

に、多くの組み込み関数の一部を一覧します。表 3。

表 3 組み込み関数

キー	機能
 	方程式の数値積分
 SOLVE	式の根の数値計算
 LN  LOG  $e^x$  $10^x$	自然対数と常用対数、 $e^x$ および $10^x$
 $y^x$  $x^y$  $1/x$  $\sqrt{x}$  $x^2$	$y^x$ , $x^y$ , 逆数、 $\sqrt{x}$ , および $x^2$
 %  %CHG	パーセントと変化率
SIN COS TAN	正弦、余弦、正接、およびその逆数
 HYP SIN COS TAN	双曲線関数とその逆数
 BASE (メニュー)	2、8、10、16 進数の数値変換
 LOGIC (メニュー)	AND、XOR、OR、NOT、NAND、NOR 演算
 INTG (メニュー)	商、剰余、整数の除算

表 3 組み込み関数

キー	機能
	マイルからキロメートル、ポンドからキログラム、ガロンからリットル、インチからセンチメートル、華氏から摂氏への変換、またその逆の変換
	時間、分、秒を小数表現の時間に変換、またその逆の変換
	度分法からラジアン、ラジアンから度分法への変換
	階数 (ガンマ関数)、順列、組み合わせ、乱数、乱数のシード
(メニュー)	平均、標本標準偏差と母標準偏差
(メニュー)	傾き、切片、推定、相関、加重平均

## 物理定数

 [CONST] を押して、41 個の物理定数を表示して使用します。  
単位のあるこれらの定数の値は、SI 単位系 (国際標準) です。

表 4 物理定数

物理定数	
真空中の光速	標準重力加速度
万有引力定数	核磁子
理想気体のモル体積	陽子の磁気モーメント
アボガドロ定数	電子の磁気モーメント
リュードベリ定数	中性子の磁気モーメント
電気素量	ミュオン粒子の磁気能率
電子素量	古典電子半径
陽子の質量	真空の特性インピーダンス
中性子の質量	コンプトン波長
ミュオン粒子の質量	中性子のコンプトン波長
ボルツマン定数	陽子のコンプトン波長
プランク定数	微細構造定数
プランク定数 / $2\pi$	ステファン - ボルツマン定数
磁束量子	水の融点 (華氏)
真空の誘電率	標準気圧
モル気体定数	陽子の磁気回転比

表 4 物理定数

物理定数	
ファラデー定数	第一放射定数
原子質量定数	第二放射定数
真空の透磁率	コンダクタンス量子
ボーア磁子	値 $e$ (自然対数の底)
ボーア半径	

定数を使用するには、挿入する定数の位置にカーソルを移動し、**[CONST]** を押して、物理定数メニューを表示します。

**[←]** **[→]** **[↑]** **[↓]** または **[CONST]** を押して次のメニューページにアクセスし、目的の定数までアンダーラインを移動して、**[ENTER]** を押してその定数を挿入します。

例えば、定数メニューの最初のページには光速  $c$  (メートル/秒) が記載されているため、ALG モードで光速から 1 メートル/秒の除算を行うには、**[CONST]** **[ENTER]** **[=]** **[1]** **[ENTER]** を押します。

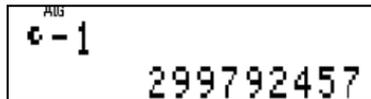


図 7

**注：**式、方程式、プログラム内で使用される定数は、数値ではなく記号で表示されます。

### 分数

数値は、"a b/c" の分数形式で入力できます。結果は分数として表示され、分数の表示は制御されます。キーボードの小数点キーの下に "a b/c" という記号が印刷されています。これは、分数に関するほとんどの操作で、このキーを使用することを忘れないようにするためのものです。例えば、分数  $1\frac{3}{4}$  を入力するには、**1** **•** **3** **•** **4** を押します。2度目に小数点を押した時点で、値が分数で入力されると解釈されます。例えば、ALG モードで  $1\frac{3}{4}$  を  $\frac{5}{8}$  に加算するには、 **$\sqrt{x}$**   **$\sqrt{x}$**   **$\sqrt{x}$**   **$\sqrt{x}$**   **$\sqrt{x}$**   **$\sqrt{x}$**  **1** **•** **3** **•** **4** **+** **•** **5** **•** **8** **ENTER** .  
RPN モードでは、**1** **•** **3** **•** **4** **ENTER** **0** **•** **5** **•** **8** **+** を押します。

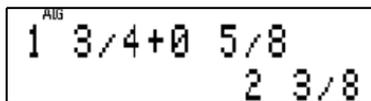


図 8

入力した値を分数として表示するには、分数表示  **FDISP** を使用します。

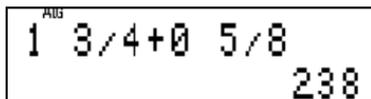


図 9

値が小数表示されているときに  **FDISP** を押すと、ディスプレイの表示が分数表示に変わります。もう一度このボタンを押すと、ディスプレイの表示が小数表示に戻ります。分数表示をより詳細に制御するには、  能を使用します。

## 複素数

複素数を実数と区別するには、**i** および **□** **□** キーを使用して、 $xiy$ 、 $r\theta a$ 、 $x+yi$  の 3 つの形式のいずれかで入力します。複素数の表示形式を制御するには、**□** **DISPLAY**、メニューオプション 9、10、または 11 を選択します。オプション 9 は  $xiy$  形式、オプション 10 は  $r\theta a$  形式です。オプション 11 は  $x+yi$  形式で、ALG モードでのみ利用できます。複素数は、現在の表示形式とは異なる形式で入力できます。入力後、複素数は表示形式に変換されます。RPN モードでは、4 レベルスタックは、同時に 4 個の複素数を保持できます。ALG モードでは、式には必要に応じて何個でも複素数を含めることができます。

HP 35s は、複素四則演算 (+、-、 $\times$ 、 $\div$ )、複素三角関数 ( $\sin$ 、 $\cos$ 、 $\tan$ )、および数学関数  $-z$ 、 $1/z$ 、 $z_1^{z_2}$ 、 $z$ 、および  $e^z$  を処理します (ここで  $z_1$  と  $z_2$  は複素数)。本電卓は、複素数の成分で表わされるベクトルの大きさも計算します。 $a$  形式の複素数の大きさと偏角を分離するには、 $r\theta a$  **□** **ABS** および **□** **ARG** 関数を使用します。

$$\frac{3+2i}{4-4i} = 0.13+0.63i$$

図 10

ALG モードで  $3+2i \div 4-4i$  を計算するには、を押します。

**3** **i** **2** **÷** **4** **i** **+/-** **4** **ENTER**

RPN モードでは、**3** **i** **2** **ENTER** **4** **i** **+/-** **4** **÷** を押します。

$$|5+6i| = 7.8105019$$

図 11

RPN と ALG のいずれのモードでも、複素数  $5+6i$  で表されるベクトルの大きさを計算するには、**5** **i** **6** を押してベクトルを入力し、次に **←** **DISPLAY** **·** **0** を押して、複素数表示モードを  $r\theta a$  に切り替えます。上図のディスプレイのように、複素数の大きさとして 7.81 が表示されます。

## ベクトル

ベクトルは、実数や複素数とは異なるオブジェクトとして扱われます。ベクトルは **→** **||** キーを使用して入力します。このキーを入力すると、2次元または3次元ベクトル内の値を

入力するための、空の括弧のセットが表示されます。ベクトルの各成分は、  を押して入力するカンマで区切ります。ベクトルの要素として、複素数やベクトルそのものを格納することはできません。ベクトルは、方程式とプログラムでも使用できます。

ベクトルは、定数による加算、減算、乗算、除算が可能です。  関数はベクトルの大きさを計算します。

ALG モードで  $[1,3]$  および  $[3,1]$  の内積を計算するには、以下のキーを押します。

             .

RPN モードでは、以下のキーを押します。

内積は 6 です。

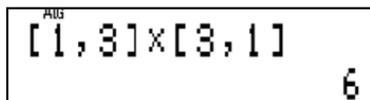


図 12

## 統計

HP 35s は、実数で構成される 1 つまたは 2 つの変数統計データを分析できます。用意されている関数には、X と Y 値の平均値、Y による重み付き X 平均、標本標準偏差と母標準偏差

があります。統計データは  $\Sigma^+$  キーを使用して入力します。値を誤って入力した場合は、値を再度入力して、 $\leftarrow$   $\Sigma^-$  を押して削除します。

例えば、データ点の集合 (1,2)、(4,5)、(9,4) から X と Y の平均値を求める場合を考えます。最初に、 $\leftarrow$  CLEAR  $\leftarrow$  4 を押して統計データレジスタをクリアします。次に、ALG と RPN のいずれのモードでも、を押して 1 番目のデータ点を入力します。 $\leftarrow$  1 ENTER  $\leftarrow$  2  $\Sigma^+$  ディスプレイには、データ点が 1 つ入力されたことを示す値 1 が表示されます。



図 13

残りのデータ値も同じ方法で入力します。 $\leftarrow$  4 ENTER  $\leftarrow$  5  $\Sigma^+$   
 $\leftarrow$  9 ENTER  $\leftarrow$  4  $\Sigma^+$ .

平均を表示するには、 $\leftarrow$   $\Sigma^+$  を押して平均メニューを表示します。X の平均値は 3.67 です。

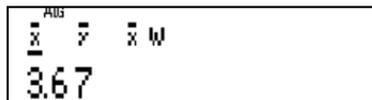


図 14

Y の平均値を表示するには、 $\square \rightarrow$  を押してカーソルを右に 1 つ移動します。Y の平均値は 4.67 です。

**注：**キー入力は、ALG と RPN のいずれのモードでも同じです。X と Y 値の標準偏差を表示するには、 $\square \rightarrow$   $\square \sigma$  を押して標準偏差メニューを表示します。最初の 2 項目が X と Y の標本標準偏差、次の 2 項目が母標準偏差です。

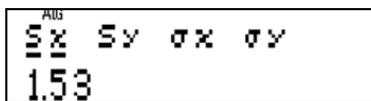


図 15

いずれかのメニューの値を計算で使用するには、値が表示されている状態で  $\square \rightarrow$  を押します。同じ方法で 1 変数データの値を計算します。例えば、1、4、9 の平均を計算するには、いずれのモードでも、 $\square \rightarrow$   $\square \text{CLEAR}$   $\square 4$ 、 $\square 1$   $\square \Sigma+$   $\square 4$   $\square \Sigma+$   $\square 9$   $\square \Sigma+$ 、 $\square \square \square \square$  の順に押します。

### 線形回帰

HP 35s は、実数データ点 (x,y) の集合に最も沿う直線の方程式を推定できます。例えば、データ点 (1,2)、(4,5)、(9,4) に沿う直線を求める場合を考えます。これらのデータ点は、統計データと同じ方法で入力します。最初に、 $\square \rightarrow$   $\square \text{CLEAR}$   $\square 4$  を押して統計データレジスタをクリアします。次に RPN モードで、 $\square 1$   $\square \text{ENTER}$   $\square 2$   $\square \Sigma+$   $\square 4$   $\square \text{ENTER}$   $\square 5$   $\square \Sigma+$   $\square 9$   $\square \text{ENTER}$   $\square 4$   $\square \Sigma+$  を押してデータ点を入力します。

線形回帰の結果を表示するには、 を押して線形回帰メニューを表示します。

最初の2つのメニュー項目は、Y 値からの X 値の推定、X 値からの Y 値の推定に使用されます。

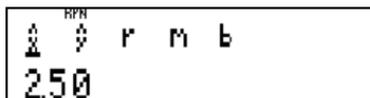


図 16

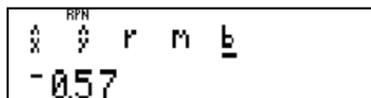


図 17

メニューディスプレイの3番目の項目は、相関係数  $r$  です。メニューディスプレイの次の2項目は、データ点に最も沿う直線の傾きと Y 切片です。傾きを表示するには、   を押して、カーソルをメニューの  $m$  記号の下に移動します。傾きは 1.43 です。 を押して Y 切片を表示します。この場合は  $-0.57$  です。

線形回帰方程式を使用して X と Y 値を推定するには、既知の値を入力し、線形回帰メニューに入り、推定値を表示します。この例で、X=6 の場合に Y の値を推定する場合、を押します。**[C]** **[6]** **[↵]** **[LR]** **[>]** 推定された Y 値は 8 です。

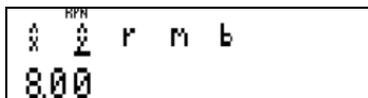


図 18

### 方程式と HP Solve

HP Solve は、方程式や式に含まれる未知の変数を解くために用意された、HP 電卓独自の強力な機能のことです。さらに、方程式カタログに入力した式を計算して積分できます。

HP Solve と積分機能を発展させ、プログラムや式に応用できます。**[EQN]** キーを押すと、HP 35s の方程式カタログが表示されます。



図 19

ユーザー入力方程式が存在しない場合、ディスプレイは上図のように表示されます。ディスプレイ右上の **▲** および **▼** インジケータは、画面に表示されているエントリ以外にも、

カタログエントリが存在することを示します。 $\square\blacktriangleleft$  および  $\square\blacktriangledown$  キーを使用して、このカタログ内のエントリをスクロールします。カタログには、2元1次方程式ソルバーと3元1次方程式ソルバーの、2つの固定方程式が存在します。方程式と式はさまざまな方法で使用できます。方程式を計算したり、方程式を解いて未知の値を求めたり(根を求めたり)、数値積分に使用できます。

### 式の計算

HP 35s は、方程式リストに入力された式を計算します。例えば、さまざまな値の X に対して、 $X^2-4$  を計算する場合は、を押してから、 $\square\text{EQN}$  を押します。 $\square\text{RCL}$   $\square\text{X}$   $\square\text{X}^2$   $\square\text{2}$   $\square\text{-}$   $\square\text{4}$   $\square\text{ENTER}$ 。  $\square\text{RCL}$  キーを押すと、キーの手前に文字が表示されたキーを押して、方程式に変数を入力することができます。

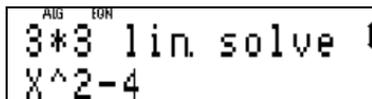


図 20

X=3 である場合のこの式を計算するには、方程式が表示されている状態で  $\square\text{ENTER}$  を押します。"?" プロンプトで、X の値を入力します。

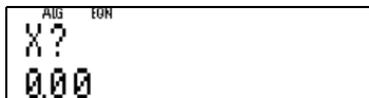


図 21

**3** を押して、キーボードの左上にある **R/S** キーを押します。ディスプレイに、 $X=3$  である場合の式の値 5 が表示されます。



図 22

別の  $X$  の値で式を計算するには、**EQN** キー、**ENTER** の順に押し、新しい  $X$  の値を入力して、**R/S** を押します。この操作は何度でも繰り返して、変数の値を変えて式を計算できます。

複数の変数を含む式の場合でも、処理は同じです。例えば、 $X$  と  $Y$  の値について、 $3X+Y^2$  を計算する場合、を押して、**EQN** を押します。 **3** **X** **RCL** **X** **+** **RCL** **Y** **Y<sup>2</sup>** **2** **ENTER**

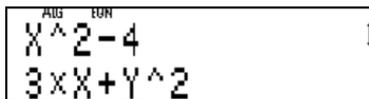


図 23

X=1 および Y=3 である場合のこの式を計算するには、

**ENTER** **1** **R/S** **3** **R/S** を押します。

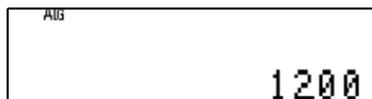


図 24

### 方程式の根の求解

HP 35s は、方程式リストに入力された方程式の根を求めることができます。例えば、多項式  $X^2 - 3X + 2 = 0$  の根を求める場合を考えます。最初に、方程式カタログに方程式を入力します。以下のキーを押します。

**EQN** **RCL** **X** **Y<sup>X</sup>** **2** **-** **3** **x** **RCL** **X** **+** **2** **↵** **≡** **0** **ENTER**

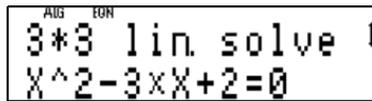


図 25

次に **EQN** キーをもう一度押して、方程式カタログを終了します。

HP Solve は、変数に現在格納されている値を、根の初期推定値として使用します。このため、 $\boxed{0} \boxed{\rightarrow} \boxed{\text{STO}} \boxed{X} \boxed{\text{ENTER}}$  を押して、方程式の変数 X に根の初期推定値としてゼロを格納します (ALG モード)。注：RPN モードでは、 $\boxed{\text{ENTER}}$  を押す必要はありません。

方程式の左辺をゼロに等しくする X の値を求めるには、 $\boxed{\text{EQN}} \boxed{\rightarrow} \boxed{\text{SOLVE}} \boxed{X}$  を押します。根 X=1 が見つかります。



The image shows a calculator display in ALG mode. The screen displays "X=" on the left and "1.00" on the right. Above the "X=" is the label "ALG".

図 26

その他の根を確認するには、初期推定値を別の値に変更して再試行します。ALG モードで  $\boxed{5} \boxed{\rightarrow} \boxed{\text{STO}} \boxed{X} \boxed{\text{ENTER}}$  を押します。次に  $\boxed{\text{EQN}} \boxed{\rightarrow} \boxed{\text{SOLVE}} \boxed{X}$  を押します。根 X=2 が見つかります。



The image shows a calculator display in ALG mode. The screen displays "X=" on the left and "2.00" on the right. Above the "X=" is the label "ALG".

図 27

前のセクションの式の場合と同様、2つ以上の変数を持つ方程式の根も見つけられます。

## 式の積分

HP 35s は、方程式カタログ内の式や、積分する関数を定義したプログラムルーチンを数値積分することができます。**注：**ディスプレイモードを使用して、目的に合った結果の精度を指定します。これは、結果を得るまでの時間にも影響します。FIX 2 は SCI 9 よりもはるかに高速に結果を返しますが、精度も低くなります。

例えば、1 から 4 まで  $1/X$  を積分するには、

**[EQN]** **[1/X]** **[RCL]** **[X]** **[ENTER]** を押して、方程式カタログに式を入力します。式は、ディスプレイに表示されているようにカタログに表示されます。INV(X) は、**[1/X]** 関数のソルバーでの表示形式です。

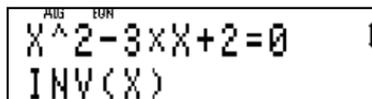


図 28

**[EQN]** を押して、方程式カタログを終了します。

いずれのモードでも、式を積分するには、積分の下限値と上限値を指定する必要があります。最初に **[1]** **[ENTER]** **[4]** を押して、次に **[EQN]** **[←]** **[□]** このとき、ディスプレイは以下の図のように表示されます。



図 29

積分変数を指定します。この場合は変数  $X$  なので、文字キー  $[X]$  を押します。メッセージ "INTEGRATING" が短時間表示されてから、結果の 1.39 が表示されます。

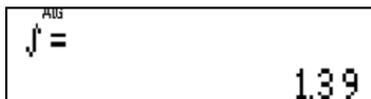


図 30

別の例として、0 から 10 まで  $Te^{-T}$  を積分します。

最初に  $[F2]$  を押して、方程式カタログに式を入力します。

$[EQN] [RCL] [T] [X] [F2] [e^x] [÷] [RCL] [T] [ENTER]$  ディスプレイは以下の図のように表示されます。

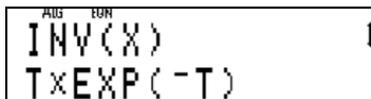


図 31

**EQN** を押して、方程式カタログを終了します。を押して、積分の範囲を入力します。**0** **ENTER** **1** **0** を押してから、**EQN** を押して式を積分します。**←** **∇** **T** しばらくしてから、結果 1.00 が表示されます。

### 線形ソルバー

方程式カタログには、2元1次方程式と3元1次方程式に関する問題を解くための、固定エントリが2つ存在します。これらのエントリは、方程式カタログの EQN LIST TOP プロンプトの直下にあります。**△** および **▽** キーを使用して、“**2\*2** および **3\*3 lin solve**” が表示されるまで、カタログをスクロールさせます。

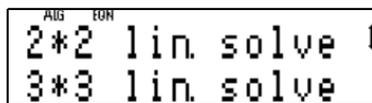


図 32

2元1次方程式の一例は、 $3X + Y = 10$  と  $X - 2Y = 8$  です。この解の集合は  $\{X = 4, Y = -2\}$  です。この例では、6個の係数として、1番目の方程式に3、1、10が含まれ、2番目の方程式に1、-2、8が含まれます。3元1次方程式では、合計12個の係数が含まれます。

すべての線形方程式が解を持つとは限りません。一部の方程式は、無限個の解を持ちます。HP 35s に組み込まれた線形ソルバーは、解が存在しない場合や無限個の解が存在する場合を検出します。

上記の 2 元 1 次方程式を解く場合は、必要に応じて、および  $\square$ 、および  $\square$  キーを使用して、ディスプレイの下の行に方程式カタログ内の "2\*2 lin. solve" エントリが表示されるようになります。

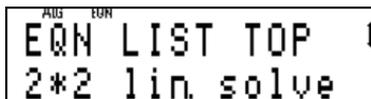


図 33

を押して、求解を開始します。  $\square$  **SOLVE** 6 個の係数の入力を求めるプロンプトが表示されます。これらの係数は A ~ F の文字変数に格納されます。変数 A に格納される値が表示されます。を押してこの値を使用するか、別の値を入力して **R/S** を押すことで値を変更します。 **R/S** 最初の係数 **3** **R/S** を入力します。



図 34

残りの各係数を入力するプロンプトが表示されます。を押して、**1** **R/S** **1** **0** **R/S** **1** **R/S** **2** **+** **R/S** **8** **R/S** これらの残りの値を入力します。メッセージ "SOLVING" が短時間表示された後で、見つかった X の値が表示されます。

A calculator display showing the result of a linear equation. The screen displays "X =" on the left and "4.00" on the right. The word "ANS" is visible in the top left corner of the display area.

図 35

ディスプレイ右側の **▲** および **▼** ディスプレイ右側のインジケータは、その他の情報が存在することを示します。 **☑** を押して、見つかった Y の値を表示します。

A calculator display showing the result of a linear equation. The screen displays "Y =" on the left and "-2.00" on the right. The word "ANS" is visible in the top left corner of the display area.

図 36

この 2 元 1 次方程式の解は  $\{X=4, Y=-2\}$  です。3 元 1 次方程式の解も同じ方法で得られます。

### プログラミング

簡単な計算を入力するのは容易ですが、同じ計算を何度も入力したり、複雑な計算を実行する場合は時間がかかります。計算に必要となるすべてのステップをプログラムに格納することが推奨されます。プログラムは単に、格納された命令の



はラベルを付け、プログラムの末尾には RTN を入力します。  
を押してプログラムモードに設定します。[▶] [PRGM] 次に を  
入力して、プログラムメモリの先頭 PRGM TOP に進みます。  
[GTO] [◀] [▶]

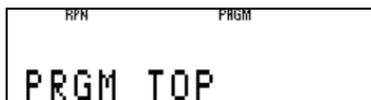


図 37

ここからプログラムの記述です。次のように入力します。:

[▶] [LBL] [A] [▶] [x<sup>2</sup>] [◀] [π] [x] [◀] [RTN] プログラムの各行はラベルの文字で始まり、その後 3 桁の行番号が続きます (以下の図を参照)。

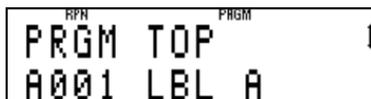


図 38

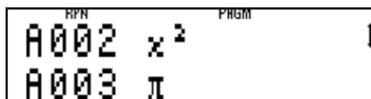


図 39

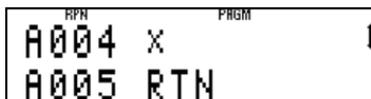


図 40

プログラム行の残りの部分は、関数やプログラム命令です。この例では、プログラム命令は **[▶] [LBL]** および **[◀] [RTN]**、関数は **[▶] [x]**、**[◀] [π]**、**[x]**

このプログラムを使用するには、**[▶] [PRGM]** **[◀] [RTN]** を押してプログラムモードを終了し、プログラムの先頭に戻ります。

半径 5 の円の面積を計算するには、RPN モードに設定 (**[MODE] [5]**) し、**[5] [R/S]** を押します。面積 78.54 平方インチが表示されます。これらのステップを繰り返すことで、必要な数の円の面積を求められます。半径 10 インチの円の面積を計算するには、**[1] [0] [R/S]** を押します。答えの 314.16 平方インチが 78.54 インチの下に表示されます。

### ALG でのプログラミング例

ALG モードもよく似たプログラムになりますが、電卓のキーを代数順に入力する点が異なります。プログラムに同じラベルを付けることはできないため、この代数モードプログラムには "B" というラベルを付けます。

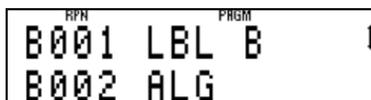


図 41

を入力して、プログラムメモリの先頭に進みます。

**[GTO] [.] [.]** を押してプログラムモードに設定します。

**[▶] [PRGM]** 代数モードのプログラムを入力します。

**[▶] [LBL] [B] [MODE] [4] [▶] [x<sup>2</sup>] [R↓] [←] [ENTER] [→] [X] [↵] [π] [ENTER]**

**[↵] [RTN]**。

ここで、本プログラムをステップごとに説明します。

プログラム行 B002 は、ALG モードに設定するための命令です。プログラム B が誤って RPN モードで使用されることを防ぎます。常に ALG モードで作業する場合や、このプログラムの使用前に必ず適切なモードに切り替える場合は、このプログラム行は必要ありませんが、使用の方が安全です。同じ理由から、プログラム A に、RPN モードに設定する行を使用できます。

行 B003 は、X レジスタの値を二乗し、その値に  $\pi$  をかけます。



図 42

REGX 命令を入力するには、**[R]** を押します。**[ENTER]** REGX は、ディスプレイに表示された値 (X レジスタの値) を参照します。このプログラム行は画面より幅が広いいため、2 番目の画面イメージのように省略記号が表示されます。画面の下の行に表示されたプログラム行の全体を表示するには、**[<]** を押します。行全体が表示されます。

行 B004 の **[←] [RTN]** 命令は、プログラムの実行を中止し、プログラム B の先頭行 B001 に戻ります。

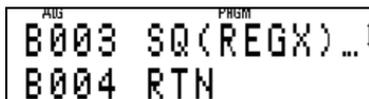


図 43

このプログラムは RPN バージョンと同様に動作します。このプログラムを使用するには、プログラムモードを終了して、プログラムの先頭に戻ります。を押します。 [ ] [PRGM] [ ] [RTN]。半径を入力してプログラムを実行します。半径 5 インチの円の面積を計算するには、を押します。 [5] [R/S] 面積 78.54 平方インチが表示されます。



図 44

別の円の面積を求めるには、各円の半径を入力して [R/S] を押します。半径 10 インチの円の面積を計算するには、を押します。 [1] [0] [R/S] 答えの 314.16 平方インチが表示されます。

### 追加リソース

HP 35s 電卓には、さらにご活用いただくための追加リソースがあります。本クイックスタートガイドの他、HP カスタマケア (800-HP-INVENT) までお電話いただくことで、ユーザーズガイドの印刷版を無料で提供しています。HP では、HP 35s 電卓の機能を的を絞った詳細な研修や学習モジュールもご用意しています。本クイックスタートガイドの他、HP カスタマケア (800-HP-INVENT) までお電話いただくことで、ユーザーズガイドの印刷版を無料で提供しています。HP では、

HP 35s 電卓の機能に的を絞った詳細な研修や学習モジュールもご用意しています。HP 35s のために用意されたさまざまな学習製品については、HP Web サイトをご覧ください。

## 保証、および連絡先情報

### 電池の交換

本電卓は、3V の CR2032 リチウム電池を 2 個使用します。電池容量低下記号 (☹) は、電池の残量がほとんどなくなったときに表示されます。電池を交換する際は、新しい電池のみを使用してください。充電式電池は使用しないでください。新しい電池を取り付けるには：

1. 電卓の電源をオフにします。電卓から電池を取り外すと、連続メモリの内容が失われる可能性があります。
2. 電池は 1 つずつ取り外してください。背面のカバーを外します。古い電池の 1 つを取り外し、プラス極性記号を上向きにした新しい電池と交換します。
3. もう 1 つの古い電池を取り外し、プラス極性記号を上向きにした新しい電池と交換します。
4. 背面のカバーを取り付けます。

**警告!** 間違った方法で電池を交換すると、電池が破裂する恐れがあります。製造元が推奨する電池と同じまたは同等の種類にのみ交換してください。使用済みの電池は、製造元が指定する廃棄方法に従って処分してください。電池を解体したり、穴をあけたり、火中に廃棄したりしないでください。電池が爆発または破裂して、危険な化学薬品が飛び散る可能性があります。

## HP によるハードウェア限定保証およびカスタマケア

本 HP 限定保証規定は、お客様に対し、製造元である HP からの明示的かつ限定的な保証の権利を与えるものです。この限定保証規定により与えられる権利の詳細な説明については、HP の Web サイトをご覧ください。さらに、該当する地域法または HP との書面による特別な契約によって、その他の法律上の権利が与えられている場合もあります。

## ハードウェアの限定保証期間

期間：合計 12 ヶ月間（地域によって異なる可能性があります。最新情報については [www.hp.com/support](http://www.hp.com/support) をご覧ください）。

### 一般条項

本条項の下記段落で明示される保証を除き、HP は書面または口頭にかかわらず、これ以外の明示的保証または条件提示は一切行わないものとします。地域の法律で認められる範囲内において、商品性、許容品質、および特定目的に対する適合性についてのすべての暗示的保証または条件提示は、本条項の下記段落で明示される保証期間に限定されます。国、州、または地域によっては、暗示的保証期間に対する制限を認めていない場合もあるため、上記の制限事項または免責事項が適用されないことがあります。本保証規定は、お客様に特定の法律上の権利を与えるものです。また、お客様は、他の権利を有する場合がありますが、その権利は国、州、または地域によって異なります。

地域の法律で認められる範囲内において、本保証に記載された救済措置が唯一の排他的な救済措置となります。上記を除き、HP またはそのサプライヤは、データの損失もしくは直接的、特殊、偶発的、結果的（利益の損失を含む）またはその他の損害につき、契約、不法行為その他いかなる理由によってでも、責任を負いません。国、州、または地域によっては、偶発的または結果的損害に対する免責または制限を認めていない場合もあるため、上記の制限事項または免責事項が適用されないことがあります。

**オーストラリアおよびニュージーランドでは、法律で許可される範囲を除き、本保証規定の条項によって、本製品の販売に対して適用される義務的な法的権利を排除、制限、変更することはできません。この保証の条件は、これらの法的権利に加えて適用されます。**

HP は、上記の免責事項にかかわらず、お客様が HP から購入された HP ハードウェア製品、付属品、およびサプライ品について、上記の保証期間中、材質および製造過程での問題がないことを明示的に保証します。HP は、保証期間中に欠陥品である旨の連絡を受けた場合、自社の判断に基づいて欠陥品を修理または交換します。交換用の製品は、新品もしくは新品に近い製品とします。

HP は、お客様が HP から購入された HP ソフトウェア製品について、上記の保証期間中、正しくインストールし使用している場合に限り、品質および製造過程での問題により、プログラム命令の正常な実行が妨げられないことを明示的に保証します。HP は、保証期間中に欠陥品である旨の連絡を受けた場合、自社の判断に基づいて、このような欠陥によりプログラム命令を正常に実行できないソフトウェアメディアを交換します。

### **免責**

HP は、この製品の動作に中断が生じないこと、またはエラーがないことを保証しません。HP は、保証対象の欠陥品を妥当な期間内に適切に修理または交換できない場合、お客様から購入証明付きで当該製品が遅滞なく返却されれば、製品の購入代金を払い戻します。

HP 製品には、新品と同等の性能を有する再生部品、または付帯的に使用されていた部品が含まれている可能性があります。

上記の保証は、(a) 誤った、または不適切な保守やキャリブレーション、(b) HP 以外のソフトウェア製品、インタフェース、部品、またはサブライ品、(c) 当社が認めていない改造または誤使用、(d) 製品の公表された動作仕様範囲外の操作、(e) 不適切な場所での準備や保守から生じた欠陥については適用されません。

### **カスタマケア**

1年間のハードウェア保証に加えて、HP 計算機には1年間のテクニカルサポートも付帯しています。ご不明な点については、電子メールまたは電話で HP カスタマケアまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、以下のリストにある、お客様の最寄りのコールセンターへお問い合わせください。また、購入証明書と計算機のシリアル番号もお手元にご用意ください。

電話番号は変更される可能性があります。市内および国際電話料金が適用される可能性があります。最新のサービスとサポートに関する情報については

**[www.hp.com/support](http://www.hp.com/support)**

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
アルジェリア	www.hp.com/ support	アングイラ	1-800-711-2884
アンティグア	1-800-711-2884	アルゼンチン	0-800-555-5000
アルーバ	800-8000; 800- 711-2884	オーストラリア	1300-551-664 または 03-9841- 5211
オーストリア	01 360 277 1203	バハマ	1-800-711-2884
バルバドス	1-800-711-2884	ベルギー	02 620 00 86
ベルギー	02 620 00 85	バミューダ	1-800-711-2884
ボリビア	800-100-193	ボツワナ	www.hp.com/ support
ブラジル	0-800-709-7751	英国領バージン 諸島	1-800-711-2884
ブルガリア	www.hp.com/ support	カナダ	800-HP-INVENT
ケイマン諸島	1-800-711-2884	チリ	800-360-999
中国	010-58301327	コロンビア	01-8000-51- 4746-8368 (01-8000-51- HP INVENT)

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
コスタリカ	0-800-011-0524	クロアチア	www.hp.com/ support
キュラソー	001-800-872- 2881+ 800-711- 2884	チェコ共和国	296 335 612
デンマーク	82 33 28 44	ドミニカ	1-800-711-2884
ドミニカ共和国	1-800-711-2884	エクアドル	1-999-119、800- 711-2884 (Andinatel)  1-800-225-528、 800-711-2884 (Pacifictel)
エジプト	www.hp.com/ support	エルサルバドル	800-6160
エストニア	www.hp.com/ support	フィンランド	09 8171 0281
フランス	01 4993 9006	フランス領アン ティル諸島	0-800-990-011; 800-711-2884
フランス領ギア ナ	0-800-990-011; 800-711-2884	ドイツ	069 9530 7103
ガーナ	www.hp.com/ support	ギリシャ	210 969 6421

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
グレナダ	1-800-711-2884	グアドルーペ	0-800-990-011; 800-711-2884
グアテマラ	1-800-999-5105	ガイアナ	159; 800-711 -2884
ハイチ	183; 800-711- 2884	ホンジュラス	800-0-123; 800 -711-2884
香港	852 2833-1111	ハンガリー	www.hp.com/ support
インドネシア	+65 6100 6682	アイルランド	01 605 0356
イタリア	02 754 19 782	ジャマイカ	1-800-711-2884
日本	81-3-6666-9925	カザフスタン	www.hp.com/ support
ラトビア	www.hp.com/ support	レバノン	www.hp.com/ support
リトアニア	www.hp.com/ support	ルクセンブルク	2730 2146
マレーシア	+65 6100 6682	マルティニク	0-800-990-011; 877-219-8671
モーリシャス	www.hp.com/ support	メキシコ	01-800-474- 68368 (800 HP INVENT)

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
モンテネグロ	www.hp.com/ support	モントセラート	1-800-711-2884
モロッコ	www.hp.com/ support	ナミビア	www.hp.com/ support
オランダ領アン ティル諸島	001-800-872- 2881;800-711- 2884	オランダ	020 654 5301
ニュージール ド	0800-551-664	ニカラグア	1-800-0164; 800 -711-2884
ノルウェー	23500027	パナマ	001-800-711 -2884
パラグアイ	(009) 800-541- 0006	ペルー	0-800-10111
フィリピン	+65 6100 6682	ポーランド	www.hp.com/ support
ポルトガル	021 318 0093	プエルトリコ	1-877 232 0589
ルーマニア	www.hp.com/ support	ロシア	495 228 3050
サウジアラビア	www.hp.com/ support	セルビア	www.hp.com/ support

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
シンガポール	+65 6100 6682	スロバキア	www.hp.com/ support
南アフリカ	0800980410	韓国	2-561-2700
スペイン	913753382	セントビンセント ト	01-800-711-2884
セントクリスト ファーネイビス	1-800-711-2884	セントルシア	1-800-478-4602
セントマーチン	1-800-711-2884	スリナム	156; 800-711 -2884
スワジランド	www.hp.com/ support	スウェーデン	08 5199 2065
スイス	022 827 8780	スイス	01 439 5358
スイス	022 567 5308	台湾	+852 2805-2563
タイ	+65 6100 6682	トリニダードト バゴ	1-800-711-2884
チュニジア	www.hp.com/ support	タークスカイコ ス	01-800-711-2884
UAE	www.hp.com/ support	イギリス	0207 458 0161
ウルグアイ	0004-054-177	米国領バージン 諸島	1-800-711-2884

表 5Cu カスタマケア

国	ホットライン電話番号	国	ホットライン電話番号
アメリカ	800-HP INVENT	ベネズエラ	0-800-474-68368 (0-800 HP INVENT)
ベトナム	+65 6100 6682	ザンビア	www.hp.com/ support

**Product Regulatory & Environment Information**  
**Federal Communications Commission Notice**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

**Modifications**

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett-Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

**Declaration of Conformity for products Marked with FCC Logo, United States Only**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. If you have questions about the product that are not related to this declaration, write to:

Hewlett-Packard Company  
P.O. Box 692000, Mail Stop 530113  
Houston, TX 77269-2000

For questions regarding this FCC declaration, write to:

Hewlett-Packard Company  
P.O. Box 692000, Mail Stop 510101  
Houston, TX 77269-2000  
or call HP at 281-514-3333

To identify your product, refer to the part, series, or model number located on the product.

**Canadian Notice**

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

**Avis Canadien**

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

### European Union Regulatory Notice

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:



This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth).



This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products.  
\*Notified body number (used only if applicable-refer to the product label).

Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

## Japanese Notice

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 欧州連合における一般家庭内でのユーザーによる廃棄対象機器の廃棄



製品やパッケージ上に見られる本記号は、本製品をその他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示します。代わりに、所有者は廃棄電気および電子機器のリサイクル用に指定された収集地まで廃棄機器を持参し、廃棄機器を廃棄する責任を負います。廃棄時における廃棄機器の分別収集とリサイクルにより、自然資源が保護され、人間の健康と環境を保護する方法で廃棄機器がリサイクルされます。リサイクル用の廃棄機器の収集地については、お住まいの地区の市役所、廃棄物処理業者、または製品を購入された店舗にお問い合わせください。

## 化学物質

HP は、顧客に対し、REACH などの法的要件を満たすのに必要となる、当社製品に含まれる化学物質に関する情報を提供します ( 欧州議会ならびに欧州理事会による Regulation EC No 1907/2006)。本製品に関する化学関連情報のレポートは、次のサイトから入手可能です。

<http://www.hp.com/go/reach>

## Perchlorate Material - special handling may apply

This calculator's Memory Backup battery may contain perchlorate and may require special handling when recycled or disposed in California.

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量						
根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》						
部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
PCA	X	0	0	0	0	0
外觀殼 / 字鍵	0	0	0	0	0	0

0 : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006标准规定的限量要求以下。

X : 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟RoHS法规

“欧洲议会和欧盟理事会2003年1月27日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的2002/95/EC号指令”

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件

